⑵　運営費交付金債務の当期振替額の明細

①　平成23年度分

（単位：円）

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	—	（業務達成基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	（期間進行基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	2,612,587,123	①　費用進行基準を採用した業務：当法人における全ての業務 ②　当該業務に係る損益等 ア）損益計算書上に計上した費用の額：2,965,358,967円 （業務費：2,218,883,511円、一般管理費：746,390,693円、財務費用：84,763円） イ）自己収入にかかる収益計上額：213,454,209円 （事業収益：156,261,652円、受託収入：51,801,863円、雑益：5,390,694円） ウ）資産見返負債戻入額：139,317,292円 （資産見返運営費交付金戻入：127,437,232円、資産見返物品受贈額戻入：11,880,060円） エ）固定資産の取得額：39,436,368円 （有形固定資産：39,152,638円、その他の流動資産：283,730円） オ）たな卸資産：81,883,711円 カ）リース資産の調整：343円 （費用の額（減価償却費＋支払利息）から年間支払総額を差し引いた額） ③　運営費交付金収益の振替額の積算根拠 （アーイーウーカ）
	資産見返運営費交付金	121,320,079	
	資本剰余金	—	
	計	2,733,907,202	
会計基準第81第３項による振替額		—	
合計		2,733,907,202	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	（業務達成基準を採用した業務はない）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	（期間進行基準を採用した業務はない）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	47,091,798	○費用進行基準を採用した業務は、当法人における全ての業務である。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、業務費の執行残である。（注：運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしている。） ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化する予定である。
	計	47,091,798	